



◆◆ 本年度会長方針 ◆◆
 「仲間の絆を深め、
 ローターリーの輪を広げよう ～心は一つ～」
 例会日/毎週月曜日 12:30～13:30
 例会場/広島サンプラザ TEL (082) 278-5000
 会長/石原 弘善 幹事/植田 敏揮

事務局

〒738-0015 広島県廿日市市本町5番1号
 廿日市市商工保健会館4F
 TEL (0829) 31-5490 FAX (0829) 31-5491
 E-mail / office20@h-hrc.com
 URL / http://www.h-hrc.com/

第1104回 広島サンプラザ 2022年9月5日

会長時間

会長 石原 弘善



誕生祝

のこと、薬のこと、介護保険、認知症に関すること、栄養相談などの相談コーナー、③座談会(ケアカンファレンス)の3部構成で行っている。相談に対する対処は情報提供・助言、傾聴、地域包括支援センターで対応、医療機関の紹介などであるが、当日の相談員のみで解決できない事案は市や病院に相談、もしくは各職種が持ち帰って必ず後日回答するようにしている。座談会(ケアカンファレンス)では各専門職、地域包括支援センター職員、民生委員、来場した地域住民などを交えて、地域から要望のあったテーマや準備した議題に沿って自由に意見を出して話し合っており、各地区の地域包括ケアを考えるよい機会となっている。



卓話

「廿日市市五師士会 ちょっとひと息 医療とふくしの相談室」



佐伯地区医師会 副会長
 勝谷・小笠原クリニック 小笠原 英敬 様

医療や介護が必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域でそのひとの能力に応じて安心して暮らし続けることができるよう、廿日市市の保健・医療・福祉に携わる専門職が連携・協働して地域づくりに貢献することを目的として「廿日市市五師士会ヘルスサポートネット(ちょっとひと息 医療とふくしの相談室)」が平成17年に発足した。当初は医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・福祉士会の5つの専門職団体からなる親睦団体であったが、その後理学療法士会、介護支援専門員連絡協議会、栄養士会、作業療法士会・言語聴覚士会が加わって現在は8つの専門職団体からなる会員数1500余名の組織で、平成28年度より特定非営利活動法人となっている。

平成23年度に「広島県地域ケア体制モデル事業」が立ち上げられ、廿日市市五師士会が「廿日市市五師士会ヘルスサポートネット(ちょっとひと息 医療とふくしの相談室)」としてモデル事業を受託した。翌年度からは廿日市市から補助金を受けて徐々に開催場所を拡大して廿日市市内全域を網羅するように各地で計20回開催していたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大のため開催場所を縮小せざるを得ない状況となっている。この相談室は、①各専門職によるミニ講座、②地域住民からの心身状況、医療相談、歯

第1105回 広島サンプラザ 2022年9月12日

会長時間

理事会報告

副会長 河内 正晴



結婚祝



ゆうほロータリー地域社会共同隊へ活動費授与

卓 話

「チチヤスの現在」



チチヤス株式会社
代表取締役社長
(広島中央RC会員) **大井 太郎** 様

このような機会を与えて下さいましたことに、心より御礼申し上げます。

私が2014年伊藤園からチチヤスに移ったとき、徹底的に行ったのが自社分析です。強みはなにか。タリーズコーヒー時代も同じことをしました。チチヤスは、強いナショナルブランドです。私は東京生まれですが、8歳の頃に高熱を出したとき、母が買ってきてくれたのがチチヤスのヨーグルトでした。「こんなに美味しいヨーグルトは初めてだ、これからはチチヤスしか食べない」と私が話していたと、母が覚えていました。

ファンドによる経営を経て、伊藤園がチチヤスの株式を100%取得したのが2011年。私のはじめてチチヤスに足を踏み入れたのがその3年後です。そのときの社内は会話がなく、社員同士の挨拶もできていませんでした。また、全員が自分の仕事に没頭して個では能力があるが、チームで仕事ができない社員がほとんどでした。タリーズコーヒーも同様で、業績の悪い会社の特徴ではないかと考えています。

債務超過を解消し自己資本比率も目標数値まで回復できた要因は、徹底した自社分析と、社員間のコミュニケーションを重視し、正論で話をし、例外を作らずに通したことだと思います。そしてなによりも、お金が大事。手元キャッシュが大切。PLで一喜一憂せずに、BSを重視しました。これは伊藤園の財務経理部を経験してきたからこそでもあります。

また、組織変更で本部制を廃止して組織をスリム化。部長・課長の権限を明確にしました。「副〇〇」というポストは全て整理しました。理由は責任を果たさない人が増えるからです。

このような演題にしましたが、まだチチヤスは本当の復活を遂げていません。復活を遂げるためには、地元・広島の皆様に、「やっぱりヨーグルトと牛乳はチチヤスだ」と指名買いをしていただけるような企業にならなければいけません。これを社員たちに伝えながら今後も精進を続けて参ります。



第1106回 広島サンブラザ 2022年9月26日

会長時間

会長 石原 弘善



誕生祝

卓 話

「新会員自己紹介」

畑 法子 会員



第1107回 広島サンブラザ 2022年10月3日

会長時間

会長 石原 弘善



誕生祝

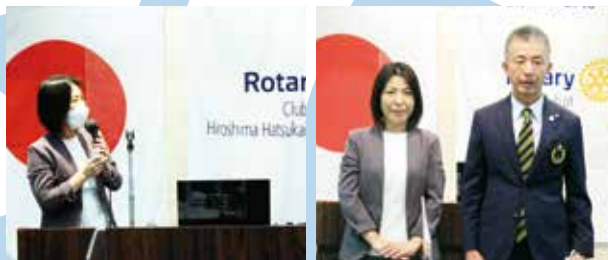
香川基吉ガバナー補佐
スピーチ

卓 話

「話しことばとコミュニケーション」

一般社団法人 日本話しことば協会

理事 萩原 世子 様



クラブ協議会



第1108回 広島サンブラザ 2022年10月17日

会長時間



会長 石原 弘善

金、土、日と周南市で行われました地区大会ご参加頂いた方々、ご苦労様でした。

本会議の記念講演、イラン生まれのサヘル・ローズさんの話『出会いこそ、生きる力』の中で大変印象に残ったお話がありました。

サヘル・ローズさんは1985年、イランでお生まれ。36歳です。

4歳の時、戦争で13人家族が空爆を受け一瞬で身内がお亡くなりになりました。

その後、一人取り残されてから現在にいたるまでの人生を語られました。

体験や各地を旅行された経験から世に明かされていない、世界は（ロシア・ウクライナだけでなく）多くの所で紛争があり悲惨な出来事がたくさんある事。

日本では当たり前ですが、世界から見ると「蛇口をひねると水が出る事は奇跡、道を歩いて地雷の危険の

ないのも奇跡」と言われていました。さまざま環境に直面している事をもっと知って欲しいと。平和ボケしないで欲しいと。

時間は限られていて、どこで人生に終わりがくるかわからない、身近な人にもっと心を寄せて欲しいと（食事中に携帯をさわって話を聞いていないなど）と言われていました。

私も家庭や会社で同じ様なことをしている事を大変反省しました。



卓話

ガバナー公式訪問例会について

第1109回 広島サンブラザ 2022年10月24日

ガバナー訪問例会
(広島西南RC・広島廿日市RC合同例会)

会長時間

広島西南RC 会長 佐藤 克則 様



卓話

「ガバナー卓話」

第2710地区ガバナー 石川 良興 様



クラブフォーラム



活動報告

新会員歓迎バーベキュー
10月30日 おもてなしホステル宮島 屋上

